

産 業 建 設 常 任 委 員 会 報 告 書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和2年11月6日（金）午前10時 ～ 午前12時			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○現地（ ）			
出 席 者 数	委員5名のうち出席者5名			
出 席 委 員	委 員 長	榎野 章	副委員長	武田 秀義
	委 員	味元 和義	委 員	林 健三
	委 員	橋本 章央		
出 席 者	農業委員会	会 長 林 幸一	農業委員会	事務局次長 林 和利
		会長職務代理 太田祥一		事務局主幹 田中淳一郎
		窪川地域委員会委員長 小野重明		事務局主事 池本拓矢
		窪川地域委員会副委員長 東出一茂	農林水産課	課 長 池上康一
		西部地域委員会委員長 竹内 純		副 課 長 戸田ゆかり
		西部地域委員会副委員長 山崎 力		副 課 長 高橋 亮
		事 務 局 長 西田尚子	議会事務局	事務局長 長谷部卓也
付 議 事 件	令和2年度四万十町農業委員会との意見交換会			
	1. 人・農地プランの実質化（具体化）について 2. その他			
審 査 ・ 調 査	農林水産課より、町内132集落の四万十町農家対象アンケートを基に、5年後			
	10年後の農業に対して、要望や課題の説明を受けて意見交換をする。			
	農業者の8割が60歳以上で、80歳以上は2割にものぼる。自作地耕作面積が			
	少なく、水田作が多く高齢農業者のリタイアなどで、10年後には小規模な耕作放			
	棄地（特に水田が多く）が発生する可能性がある。			
	以前は若者のUターンで人手があった興津地区でも人手不足で外国人研修生を			
	受け入れている。			
	農協への意見として、幡多地区、窪川地区を区別せず四万十町として一体となっ			
	た取組を望む意見や、全体意見として、やはり後継者不足や農業機械の更新問題が			
	ネックとなっている。農業だけでなく地域をどう守っていくのか、地域での仕組			
報 告 日	みづくりが求められている。11月中には、各集落の座談会も予定されているが、			
	集落からが定期的な開催を望む声がある。			
	農業委員会から町長に提出する意見書について内容説明を受けた。農業関係、林			
報 告 日	業関係の現状を委員はもとより職員も認識する機会があればいいと考える。			
	令和2年11月12日（木）	委員 長 署 名	榎野 章 	